

お知らせ

- ・ アンサンブル・アメニティ・コンサート 10月19日(土) 浪花教会
- ・ てづくり工房ほりだし市 11月2日(土) 草志舎
- ・ 町並み見学会(宿泊) 11月7日(木)、8日(金) 舞鶴、美山町、熊川宿、今津町
- ・ ヴォーリズ六甲山荘公開最終日 11月17日(日)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日

予告2

てづくり工房ほりだし市

日時 11月2日(土) 午前11時~午後3時 場所 草志舎

秋の大行事です。会場には会員の手作り品や有機農家会員の生産品、協会の趣旨に賛同するグループの作品などが並びます。東北からも物産を取り寄せます。あたたかい雰囲気の楽しいほりだし市です。おいしいお昼ごはん、喫茶も用意いたします。

大勢の方に来ていただけるよう、お知り合いにお声をおかけください。

案内チラシを同封しております。もっと枚数が必要でしたら、事務局までご連絡ください。お送りいたします。皆さんから出品作品を募集しています。手作りのこもの類、パン、ケーキ、惣菜が特に人気です。日頃の腕をふるったものをお寄せください。雑貨類もお受けします。

また前日の準備と当日に大勢のスタッフが必要です。どうぞふるってご参加ください。

ご報告1 第9回コウノトリの郷との交流 9月7日(土) 豊岡

好天の稲刈り日和でしたが、連日の雨のあとで田んぼがぬかるんでいたため、作業は大変でした。それでもカマで稲を刈り、稲木に掛ける昔ながらの稲刈り作業を行いました。刈り取りを待つ黄金色の田んぼの広がるなか、稲が干されている光景は「豊かな瑞穂の国」さながらでした。昼食には暇さんのもち米と大納言小豆で蒸されたおいしいおこわをいただくぜいたくなひと時でした。



予告1

第24回名建築と音楽シリーズ~~アンサンブル・アメニティ・コンサート

いつもすばらしいハーモニーを聴かせてくれるアンサンブル・アメニティのコンサートです。今回はとくに保護者同伴の小学生、中学生の子供さんは無料でご参加いただけます。時間は少々遅いですが、すばらしい音楽に親しめるいい機会です。

日時 10月19日(土) 午後6時半 場所 浪花教会(大阪市中央区高麗橋)
定員 100名 参加費 会員2,000円 一般2,500円
出演 アンサンブル・アメニティ
畑儀文(テノール)、高本一郎(リュート)、赤松由夏(ヴァイオリン)、春木浩子(ハーブ)



予告3

町並み研究会~~秋の美山町とさば街道をたずねて

今年の宿泊町並み研究会は舞鶴、美山町、小浜、熊川宿、今津町を訪ねます。日本海と京をむすぶ物流の道さば街道をめぐる旅です。現在席数に余裕があります。秋の近江路を堪能する旅に、あなたも一緒にしましょう！

月日 11月7日(木)~8日(金) 参加費 会員30,000円 一般35,000円
宿泊 美山町 旅館「きぐすりや」 定員 25名 美山町→



予告4

2013年度下期セミナー 「景観保存を探求する」

アメニティ・アカデミーの2013年度下期のセミナーをつぎのように開催します。「景観保存を探求する」をテーマに、3回シリーズで、いずれも景観保存におおきな実績のある町を訪れ、保存に力を尽くしてこられた方々からお話を伺います。

- ・第1回 **12月7日(土)** **「大原家と倉敷」** 12:30 大原美術館前集合
大原家別邸(有隣荘・非公開)・大原美術館・倉敷民芸館他
オプション 当日の昼食
 - ・第2回 **2月15日(土)** **「奈良町」** 13:00 近鉄奈良駅 行基噴水前で集合
聖公会奈良教会(非公開)・南都銀行本店・旧遊郭明秀館・墨の老舗古梅園
奈良町物語館(解説)・元興寺(世界遺産)の門前・
奈良市格子の家・旧奈良市ならまち振興財団(和洋折衷・大正建築)
オプション 昼食
 - ・第3回 **3月22日(土)** **「西宮市甲陽園目神山」**(都市景観大賞受賞地区)
- ・定員 25名(但し連続希望者優先)
・参加費 未定(3回連続7000円予定)
各回のみ第1回4500円、第2回2000円、第3回1500円予定
各回の詳細についてはそれぞれ前月のアメニティ便りでご案内いたしますが、予約は今からお受けいたします。

ご報告2 畑儀文の合唱教室 9月9日(月) 草志舎

残暑のきびしいなか、皆さん歌う楽しみのために集まって来られます。今日は秋の歌も数曲。畑儀文さんの独唱もある贅沢な教室です。

ご報告3 アメニティ・アカデミー 第Ⅲ期セミナー 9月14日(土) 草志舎

第Ⅲ期のセミナー「会員なら知っておきたい基礎講座」の最終回で「協会の現状と展望」と題して、とくに今協会がかかえている問題、これから進むべき方向などについて論じ、お茶の時間にも参加者同士で話しあいました。



【コラム】

アメニティアカデミー・セミナーに参加して 「会員なら知っておきたい基礎講座 第1回～第5回」

志水 英生

アメニティ2000協会設立の経緯・活動の流れなど、発足準備段階を含め15年間の歩みとその基となる理念について学び、更には今後の課題と展望にまで話が及ぶ大変有意義なシリーズでした。

写真とレジュメにより具体的な活動の様子が次々と紹介され、入会して3年目の私にとって協会の目的、歴史、活動内容などを系統だって知り得る絶好の機会となりました。特に、発足準備段階から六甲山荘公開に漕ぎ着ける迄の活動の記録は、西部劇ではないけれど開拓者魂のようなものが感じられ、先駆けの方々のご尽力に頭が下がります。

世間では、室谷邸、播半など既に解体され姿を消したものも多く、今現在もジョネス邸のように保存運動が難航し存亡の危機に晒されている例もある…、こう云った現実の中にあって協会の活動が乾邸を救い、六甲山荘を自らが取得し維持管理～公開活動をしているという実績は誇るべきものと改めて強く感じた次第です。

そして更なる展望として、認定NPOの取得、新しい資産(トラスト2号)の取得等々次の一手、二手にも言及があり、明日に向かって身の引きしまる思いの講座締めくくりとなりました。

この講座が今回限りで終わることなく、入会して日の浅い人にとっての必要性は勿論のこと、ベテラン会員にとっても初心を思い起こし、協会の現状・展望を考えるきっかけになるという位置づけで、今後とも繰り返し開催されることを希望します。

(余談)

先日、久しぶりに大学時代のゼミ仲間が集まり、近況を語り合う機会がありました。我々の年代の近況というと残念ながら健康に関する話題が圧倒的ですが、私の場合は丁度このセミナー参加直後ということもあって、仲間に協会の活動について披露し、私も微力とはいえ活動に参加していることを話しました。卒業して50年経った現在でもなお、胸を張って話せることのある幸せを痛感しています。

◀お薦めの本▶ R・F・ファインマン著 大貫昌子訳『ご冗談でしょう、ファインマンさん』(上・下)

森本 久子

私たちはよく「ノーベル賞をもらうような天才の頭の中はいったいどうなっているんだろう？」と思う。この自伝の著者(正確には、ファインマンが語ったことを親友のラルフ・レイトンが聞き書きした回顧録)リチャード・ファインマンは1965年、朝永振一郎などとともに量子電磁力学の分野でノーベル賞を受けたアメリカの理論物理学者である。これを読むと確かに「ファインマンさん」の頭の中には難解極まる数式がいっぱい詰まっていることが分かる。しかしそれ以上に感銘を受けるのは、森羅万象あらゆることに興味を持ち、科学者らしく真摯に探求するかと思えば、まるで人を食ったような冗談といたずらで人を驚かす「ファインマンさん」の人間性である。次々と語られる奇想天外なエピソードに笑ったり驚いたりしているうちに、その素晴らしい頭脳と豊かなユーモアの精神に魅了される。

ファインマンは病身を押して、1986年のスペースシャトル「チャレンジャー号」の事故調査委員と一人となり、NASAの安全神話に対し、科学的真実こそが重要との報告書を提出している。また『チャレンジャー号 73秒の真実』というタイトルで、今年BBCが作った社会派ドラマに主演として出演(?)している。(ウィリアム・ハートがファインマン役)

原題は“Surely You’re Joking, Mr. Feynman” Richard Feynman & Ralph Leighton

(岩波現代文庫)

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

ワーキングホリデー

福井 啓太

今回、私はこのワーキングホリデーに、企画スタッフ兼学生として参加させていただきました。参加したのはトラストユースセンター生二名を含めた計四名。残念ながら留学生の参加はありませんでしたが、文化財保護活動の具体的な作業を体験出来たという点で、貴重な経験となったのではないかと、企画スタッフの一人として考えています。

期間中は夕立ちも数回あったものの、全体を通しては天候にも恵まれ、夕立ちの雨も打ち水のように働いたのか、快適に過ごすことが出来ました。期間中の活動として、初日は山荘案内と自己紹介、翌日のワークについて話し合い、窓枠のペンキ塗りとマスキングをしました。二日目は窓枠のペンキ塗りと遊歩道整備をし、昼食はピザを食べ、夜は夜景見に行きました。三日目は石窯のタイル張りをし、昼過ぎからは有馬温泉へ。最終日は山荘の床磨きをしたのち野点といった内容でした。

今回のワーキングホリデーに学生として参加した中で一番印象深かったのは、実際に数日宿泊した中で感じたヴォーリス六甲山荘の快適さでした。普段スタッフとして案内し、住む人が快適に過ごせるようにと、心配りが行き届いた造りになっていることは説明していましたが、その快適さは泊まって初めて実感するのだとわかりました。会員であれば宿泊可能なので、皆さんも是非、泊まってみてください。

もう一つ、印象深かった事があります。ワーキングホリデー中、毎食美味しく、お腹いっぱい食べてしまったご飯です。二日目のピザをはじめ、ちらし寿司やドライカレー、本当に美味しかったです。夏休みが始まり、不規則な生活へと墮落しかけていた私には、規則正しい時間に掛けられる「ご飯にしましょう」という声が、毎日のワークへの原動力となりました。調理してくださったスタッフの皆様、ありがとうございました。

一緒にワークに参加してくださった皆様、車での送迎をしてくださった皆様も、本当にありがとうございました。来年のワーキングホリデーには留学生参加者が増えるよう、広報を頑張ります!



窓枠のペンキはがし

ヴォーリス六甲山荘でのワーキングホリデー

丸田 尚道

「ワーキングホリデーしてみない?」大学のある先生にかけられた一言。それは、また貴重な経験をすることの始まりでした。幼いころから大阪の都市部に住み、自然などとは触れあう機会がほとんどなかった僕にとって、六甲山荘でのワーキングホリデーという言葉はとても新鮮に響きました。ここでの経験は僕にとって素晴らしいものでした。

六甲山荘は大自然に囲まれ、周りに咲くアジサイは美しく、また、長年たってもしっかりと建っているヴォーリス六甲山荘などはすごく心を刺激しました。

ワーキングホリデーで活動する内容も、ほとんど人生ではじめてなものばかりでした。ペンキ塗りや山道をつくったり、ぬかで床磨き、ピザ窯の装飾など、普通の生活では経験しないことをさせていただき、アメニティ2000協会には感謝の念が堪えません。

ペンキ塗りの途中では、急にスコールのように雨が降ってきたりし、トラブルにも幾度か遭遇しましたが、そういったこともふくめ、よい経験をさせていただいたと思って

います。

また、作業のほかにも、色々な形で楽しませていただきました。六甲山からの夜景を見にいたり、有馬温泉、浴衣で野点など、非常に楽しませていただきました。

そして、三食の食事がとてもおいしかったです。朝は太陽がまだ陽を射す前に、クラシック音楽とともに外で優雅な食事を、昼は、例えば自家製のピザ窯で焼いたピザなど、夜は雨が降るといふ災難がありながらもBBQを楽しむなど、毎回の食事では毎回おいしく、満腹になりました。

大阪に帰ってきても、六甲山荘で経験したことは新鮮でもう一度ワーキングホリデーをしたい、という思いに満た

されています。あまり経験をしたことのない僕に、優しく接して下さったアメニティ 2000 の皆様に感謝します。



ピザづくり

六甲山荘たより

9月の六甲山荘

厳しい残暑のあとは常ならぬ大雨と台風の襲来で、波乱の9月でした。幸い建物には被害はありませんでしたが、台風の翌日には停電があり、スタッフは苦勞されました。また六甲ケーブルは土砂崩れで不通となり、現在代替バスが運行しています。神戸北部からの裏六甲ドライブウェイも落石のため通行禁止。秋のシーズンに思わぬ事態です。

公開スタッフ募集

公開日のスタッフを募集しています。受付、喫茶はどなたでもできる仕事です。ガイド希望の方にはマニュアルもあります。初めての方もぜひお気軽にご参加ください。お待ちしております！

ヴォーリズのシンポジウムのご案内

神戸女学院では岡田山キャンパス移転80周年を記念してシンポジウム「ヴォーリズ建築の魅力とメッセージ」を開催します。

日時 10月12日(土) 13時~17時30分

メインスピーカー 隈研吾

パネリスト 山形政紹、江戸雪

見学会監修 石田忠範

入場無料、予約不要

詳しくは事務局にお尋ねになるかあるいは学院のHP (<http://www.kobe-c.ac.jp>) をご覧ください。

六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会

今年の六甲山荘の一般公開は11月17日(日)が最終日となります。そのあと11月23日に大掃除をして、冬ごもりの準備をし、暖炉の前でワインと料理を楽しむ会をいたします。8か月間ご苦勞様の気持ちをこめての作業です。どうぞご参加ください。ご参加の方はご連絡ください。



昨年の「乾杯！」→

会員で一級建築士の白川賀津子さんが福岡で建築事務所を開設されました。カバ(=ヒッポ)のようにどっしりと、大人も子供も温かく包み込むような建物を設計したいと、アトリエヒッポと名付けられました。

アトリエヒッポ一級建築士事務所

福岡市南区高宮 4-8-2-101 TEL 070-5045-9234

HP: <http://www.atelierhippo.com/>



豊岡・黄金色のたんぼ